

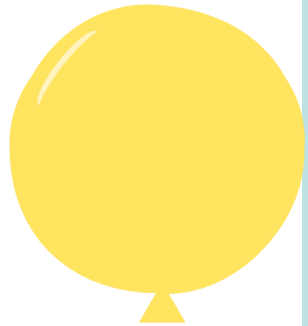
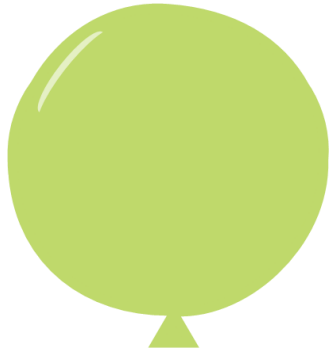


やってみよう！



ドキュメンテーションの 書き方・活用法 BOOK

株式会社ベネッセスタイルケアグループ°



- ドキュメンテーションのメリット P 2
- 3 STEPでドキュメンテーションを作ってみよう！ P 3
- 作ったドキュメンテーションを活用しよう！ P 7
- 【特典】フォーマットを使ってみよう！ P 9

メリット 1

日々の保育が楽しくなる！

ドキュメンテーションを通して日々子どものワクワクした姿をとらえることで、保育者の「子どもの興味・関心をとらえる視点」が育ち、保育という仕事の楽しさにつながります。



メリット 2

コミュニケーションが活性化！

子どものワクワクした姿を、クラスを超えて園の中で共有し合うことで、保育者間の話し合いが活発に。また、写真で子どものワクワクした姿を保護者にも共有することで、対話が増え、園への信頼感も生まれます。



→つまり、“**ワクワクの好循環**”が生まれます！

子どもの学びを豊かにする「ドキュメンテーション」のメリットを他にもご紹介しています！ぜひご覧ください！



ドキュメンテーションを作ってみよう！

トカゲのしかけ作りに夢中！



樹季君、宗介君、太郎君が牛乳パックを使ってトカゲのしかけ作りをしています。

それぞれが作ったしかけをどうくっつけるか話し合い中…。



裏庭に行き、前にトカゲが出てきたところにしかけを設置。明日また見に来よう！



ドキュメンテーション
興味はあるけれど
難しそう…

という方も、これから紹介する
3つのステップで簡単に作成できます。
ぜひ、**ワクワク**しながら作ってみてください！

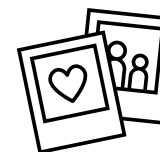
STEP 1

写真を撮る



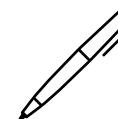
STEP 2

写真を選んで
タイトルをつける



STEP 3

写真にコメントを書く



STEP1 : 写真を撮る



まずは「先生の心が動いた場面」を記録してみてください！
写真を撮る際は以下の3点がポイントです。

写真撮影のポイント

1. 子どもが何かを面白がっていたり
熱中したりしている瞬間
2. 子どもが試行錯誤したり
困難を乗り越えようとしている様子
3. その子の良さが発揮されているシーン

また、撮影したときに、子どもがどんなことを話していたかも
メモしておくと便利です。



「ポーズして！」と言って撮った写真です。
子どもの学びはあまり見えてきません。



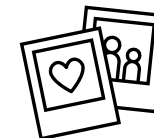
生き物を捕まえるために試行錯誤しています。
子どもの工夫や学びがある瞬間です。

大豆生田先生
のワンポイント！

「何を撮ったらいいかわからない」...はなぜ起こる？

ドキュメンテーションを始めたばかりの段階では、「何を撮ったらいいかわからない」というお声がよく聞かれます。それは裏を返せば、今日の子どもの一番大事な場面がまだ発見できていない状態、とも言えます。「この子の興味や関心、想いや成長が見える、大切な場面はどこだろう」と意識して子どもを見ていると、だんだん撮るべきポイントが見えてきます。ですので、子どもにずっとカメラを向ける必要はありません。子どもの育ちの大切な場面、先生の心が動いた瞬間に、そっとカメラを取り出して1枚撮影すれば、それで充分なのです。顔が見える必要はありません。子どもの背中、手元だけでもいいのです。慣れてくると、子どもの気持ちが表れるような写真が撮れるようになるので、ぜひ試してみてください。

STEP2 : 写真を選んで、タイトルをつける



次に、今日の子どもたちの活動の中から**ピックアップ**する
内容と写真を決めます。そして、それぞれの活動に、
子ども達の興味やブームがわかるようなタイトルをつけます。

注意！

ドキュメンテーションは、子どもの興味関心（活動）ごと
に分けて書きましょう。扱う活動は1クラス、1日あたり2～3
個からはじめてみるのがおすすめです。

タイトルをつけるときのポイント

「やったこと」ではなく、子どもたちの興味や
ブームがわかるもの、**ワクワク**が伝わるものに。

タイトル OK・NG例

たとえばこの写真...
どのようなタイトルをつけますか？



もったいないNG例

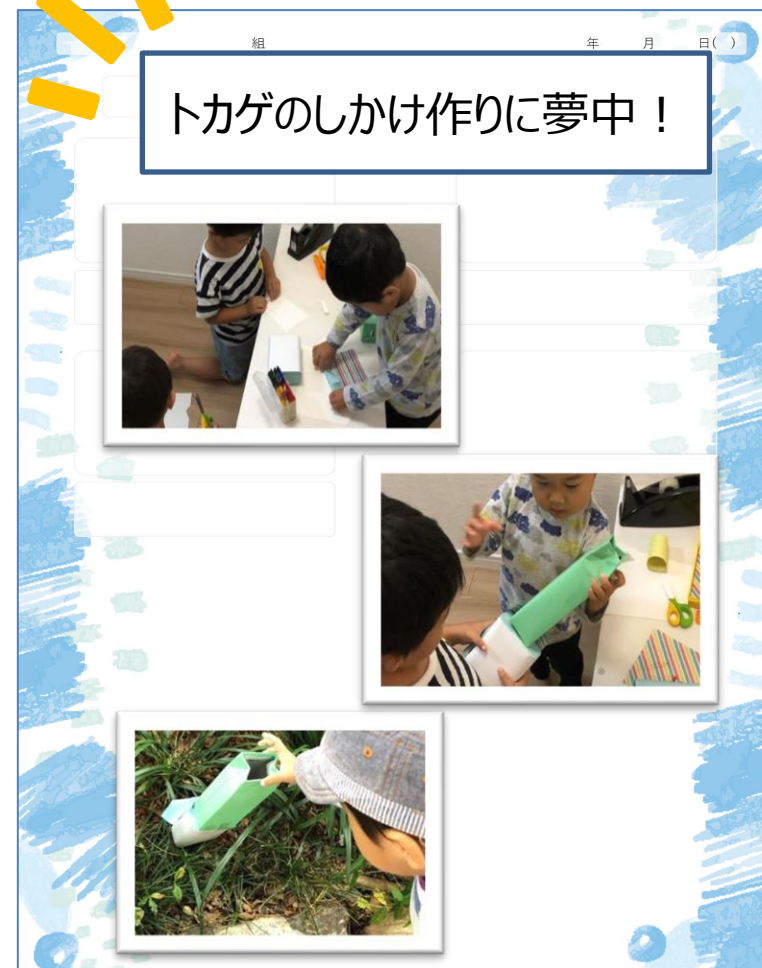
△△公園まで
お散歩に行ったよ！

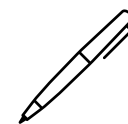
お散歩でどんなわくわくがあったのか
までは、伝わりません。

興味がわかるOK例

石の下にも！
ダンゴムシみつけた！

タイトルと写真だけでも、ダンゴムシ探し
に夢中になって座り込む子、網を使う子、
それぞれの思いが見えます。





最後に、写真にコメントをつけていきます。
まずは、**子どもの実際の姿を具体的に言葉にしましょう。**
さらに、子どもの気持ちや育ちを
保育者が読み取って書きましょう。

コメントを書く時のポイント

1. 誰と、何を、どう工夫したのか書く
2. 子どもの成長、試行錯誤を書く
3. 明日への展望を書く

大豆生田先生
のワンポイント！

保育者が気持ちを読み取ってコメントを書いてもいいの？

ドキュメンテーションは子どもが本当に話した内容や、起こったことしか書いてはいけないのでは？と思われるかたもいらっしゃるかもしれませんが、そうではありません。特に乳児さんの場合は、まだ思ったことを言葉にすることは難しいので、ぜひ保育者のかたが「こう思っているのかな？」と考えたことを書いてあげてください。保育者さんによって個性や特色が出ることに気が付くかもしれません。そんな視点の違いがあるからこそ、他の保育者さんとの対話も広がっていくのではないのでしょうか。また、全ての写真にコメントを書く必要はありません。ときには、写真何枚かに、コメントをまとめて一つ、ということもあるかもしれません。伝えやすいように、自由に表現してみてもよいのではないのでしょうか。

トカゲのしかけ作りに夢中！



樹季君、宗介君、太郎君が牛乳パックを使ってトカゲのしかけ作りをしています。

それぞれが作ったしかけをどうくっつけるか話し合い中…。



裏庭に行き、前にトカゲが出てきたところにしかけを設置。明日また見に来よう！

作ったドキュメンテーションを活用しよう！

完成したドキュメンテーションの効果的な活用法をご紹介します！

活用法 1 「掲示」や「公開」で、保護者へ共有する

作成したドキュメンテーションをお迎えに来る保護者が見えるところに掲示したり、ICTやブログなどで公開したりして、その日の子どもの学びを保護者に共有します。写真があることで、保護者と先生、保護者と子どもの対話が深まることを実感できるはずです。

活用法 2 「掲示」や「ファイルに入れて」子どもに見えるようにする

文字の読めない子どもでも、写真なら理解できます。自分がやったことを思い出すことで自信につながったり、友だちが何をしていたかを知って自分の活動に活かそうとするなど、様々な効果がうまれます。

活用法 3 日誌などの「保育記録」として活用

ドキュメンテーションを作っているならば、わざわざ同じ内容を日誌に書くのではなく、ドキュメンテーションをそのまま日誌の活動記録として使うこともできます。

対話が広がった
ワクワクの声

園での子どもの様子がわかり安心感が生まれました！

保育士さんたちをより身近な、そして大切な子育てパートナーとして思えることも大きいです。

まだ話せない乳児クラスの子でも、指をさして意思表示してくれます。

子ども同士で『これ何？』『これはね・・・』など、説明し合っています。そこから他の活動に目が向く子も！

写真があるからこそ、その活動を見ていなかった園長先生や、別の担任の先生にも子どもの様子が伝わりやすく、職員全員で子どもたちの活動を共有しやすくなりました！



「コドモン保育ドキュメンテーション」へのお問い合わせ

具体的なご相談もできます。まずは資料をご請求ください。



コドモン 保育ドキュメンテーション窓口
0120-574-757 (通話料無料)

(株)ベネッセスタイルケアグループは、2019年2月よりCoDMON(コドモン)の販売代理店業務を行っています。「CoDMON」は(株)コドモンが運営・提供するサービスです。

(株)ベネッセスタイルケアグループは、(株)コドモンと共同で幼児教育・小学校連携等の視点を盛り込んだ幼保施設向け教務支援サービスの開発を行っております。

※この情報は2026年1月のものです。商品・サービスのデザイン・名称・内容などは変わることがあります。